

地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（コミュニティデザイン学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。	地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための人文・社会科学の基礎的な知識、自然科学分野の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習及び、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関する実践的行動力を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身につけるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。また、日々の生活を送り、読書をし、新聞を読み、メディアを視聴する際にも、地域社会の課題を発見し、その課題解決の方法を見いだすように努力してみてください。そしてその成果について、ぜひ友人、家族、先生、身近な人などに、分かりやすく伝えてみましょう。そうした考えに対する他人の意見に耳を傾け、ディスカッションを通じて、協働的にアイデアを深めていく機会を、積極的に経験し作り出すことを期待しています。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
 - ② 地域の成り立ちを理解し、より良いコミュニティの創成を追求するために必要な技能を身に付ける意欲と適性を有する人
 - ③ 学際的学修へ向けた論理的思考力と表現力を有する人
 - ④ 地域の資源・社会システムの視点から、実践的にまちづくりを学ぶための判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
 - ⑤ 地域課題の解決に取り組むための主体性とコミュニケーション力を身に付ける意欲と適性を有する人
 - ⑥ 地域や社会との関わりの中で多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。個別学力検査等では小論文により、課題文や資料(図表や写真など)の読解、解釈を基に自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)を取り巻く課題に取り組む学力、意欲、関心、主体性について評価します。出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)についての関心と学修意欲、本学科での適性・能力などを評価します。出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
総合型選抜A (一般)	第1次選考として調査書、事前提出書類(活動経験等を踏まえた進学後の学習について)及びその他提出された書類により選考を行います。また、第2次選考として面接、グループディスカッション、大学入学共通テストの成績等を総合して選考を行います。各選考は「主体性・多様性・協働性」、「思考力・判断力・表現力」、「知識・技能」を総合して判断します。
私費外国人留学生選抜	出願書類、日本留学試験の成績、英語外部試験(TOEFL)のスコア、本学の学力検査等(小論文、面接)の結果を総合して選抜を行います。小論文では、総合的な理解力、思考力、表現力、面接では、コミュニティデザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、将来設計を問います。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆		
	後期日程	小論文	☆	☆☆☆		☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜	A(一般)	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆		☆☆
		面接	☆	☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
私費外国人留学生選抜	面接	活動経験等を踏まえた進学後の学習について	☆	☆☆☆		☆☆	
		英語外部試験	☆☆☆	☆☆	☆		
		日本留学試験	☆☆☆	☆☆	☆		
		小論文		☆☆		☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)			○		☆☆	

(注1) 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

従来の建築や空間からの発想に加えて、都市や人々などの社会環境も考慮して、地域の実情に合った生活空間をデザインできる人材を育成します。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、建築・都市デザイン学の基礎を学び一級建築士の国家資格取得に向けた素養を身につけるとともに、先端技術や少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策等を学び、現代の社会課題の解決に応用する力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士(工学)」の学位を授与します。卒業と同時に一級建築士の国家試験を受験する資格が得られるカリキュラムです。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、建築・都市デザイン学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。また、少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策を学び、現代の社会課題の解決に応用する力を養います。さらに、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育成するために、実際の地域課題に取り組むことで建築の仕事に関わる異業種の人々と連携する力を培います。	建築・都市デザインの基礎を学ぶために、高等学校の教育課程による広範な基礎的知識が必要です。また、数学を中心とした理数系科目に関する応用力と、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力が必要です。建築・都市デザインの専門技術を学ぶために、安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力や、建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有している必要があります。また、人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりや、歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有している必要があります。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。建築の工学的側面を学修するために、[数学]は基礎・応用力が、[理科]は基礎力が重要です。建築の社会的側面や芸術・文化的側面の学修には、[社会]等への関心も求められます。また論理的な文章を構成できる[国語][英語]の基礎力が重要です。設計製図は、入学後に基礎から学ぶため事前に必要な知識・技能はありませんが、主体的に学ぶ姿勢が重要です。これらの基礎力とともに、建築学の学修と社会貢献への高い意欲をもつ方を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
 - ② 建築・都市デザインの専門技術を学ぶために必要な基礎的スキルや、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力を有する人
 - ③ 安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
 - ④ 建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有する人
 - ⑤ 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりを学ぶ態度を有する人
 - ⑥ 歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜(前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかります。個別学力検査では広く基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を重点的に評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
一般選抜(後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
総合型選抜A(一般)	造形実技及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。造形実技では、立体・空間の構成を把握・表現する能力等を検査します。面接では、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験では英語の、日本留学試験では日本語、数学及び理科の基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
	後期日程	個別学力検査	☆☆		☆☆☆		
		出願書類(調査書)			○		
選抜	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
	面接	面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜A(一般)	面接	面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆
		造形実技	☆☆		☆☆☆		
		出願書類(調査書)			○		
私費外国人留学生選抜	面接	英語外部試験	☆☆☆				
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆		
		出願書類(成績証明書等)	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆
				○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士(工学)」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。</p>	<p>地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための工学・自然科学分野の基礎的な知識、特に数学と物理の基礎的理解と応用力は不可欠です。また、社会科学の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習及び、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関する実践的行動力を必要とします。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。理工学教育のための数学や物理、化学など自然科学の基礎力、表現力の基となる国語・英語、社会的基礎知識である歴史や地理、公民など、幅広く学習することを期待します。当学科の入学試験の内容は、道路や鉄道、河川、港湾などインフラ施設や社会基盤をデザインする人材の成長のきっかけとなることを目指した内容になりますが、その多くが主体的に学ぶ姿勢が重要になります。皆さんが学習を通して習得する基礎力とともに、入学後に学ぶ社会基盤整備への関心と社会貢献への高い意欲を持つことを望みます。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ① 社会基盤の専門分野を学ぶ上での基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
 - ② 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
 - ③ 社会基盤の専門分野に興味と関心があり、科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
 - ④ 学習の熱意や意欲及び行動力をもつ人
 - ⑤ 社会全体の利益のために奉仕できる責任感と国内・海外の様々な地域の課題解決のためにグローバルに活躍する意欲がある人
 - ⑥ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度及びそのためのコミュニケーション力が身につけている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。</p>
一般選抜 (後期日程)	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。面接により、まちづくり及び社会基盤(インフラ)に関するあなたの考えを問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。</p>
総合型選抜 A (一般)	<p>プレゼンテーション、面接を総合して選考を行います。なお、面接では理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。社会基盤デザイン分野に関する関心度や意欲、問題意識、視野の広さ、希望進路などを問い、総合して判断します。</p>
私費外国人留学生選抜	<p>基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。地域における社会基盤デザインに対する熱意と問題解決に対する能力を評価の対象とします。主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。</p>

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆		
	選抜	個別学力検査	☆☆		☆☆☆	☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜 A(一般)	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆		
	面接			☆☆		☆☆☆	
	出願書類(調査書)			○			
私費外国人留学生選抜	A(一般)	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
		英語外部試験	☆☆☆				
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆		
		学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
面接	☆☆				☆☆☆		
出願書類(成績証明書等)			○				

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
 (ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの